氏名	白　増亮
学位の種類	医学博士
学位授与番号	博甲第892号
学位授与の日付	平成3年3月28日
学位授与の要件	医学研究科病理系ウイルス学専攻 （学位規則第5条第1項該当）
学位論文題目	**単純ヘルペスウイルス感染細胞表面に発現するFc－レセプターによる感作赤血球吸着反応：微細形態学的ならびに細胞生物学的考察**
論文審査委員	教授　矢部芳郎　教授　金政泰弘　教授　赤木忠厚

学位論文内容の要旨

単純ヘルペスウイルス（HSV）感染細胞表面のFc receptor（HSV−FcR）による感作赤血球吸着（HAD）機構について電子顕微鏡レベルでの研究は報告がまだないことから，著者はこの方向から研究を行った。HSV−感染後23時間でHSV−gC抗原は98.6％の細胞に検出されたが，HAD陽性細胞（吸着赤血球数≧3個／細胞）は85.7％にとどまった。これらのHAD陽性細胞を吸着赤血球数により分類すると，A型細胞（≧20個）40.6％，B型細胞（10−19個）21.8％，C型細胞（3−9個）23.3％であった。このHSV−gC抗原検出率とHAD陽性率との不均衡な関係，すなわち，ほぼ100％にウイルス抗原が発現しながら，HAD細胞が85.7％にとどまり，しかも，吸着赤血球数にもかなりのばらつきが認められた点について，走査電子顕微鏡でさらに詳細に検討した。A型細胞表面にはmicrovilliが極めて密に分布しているが，ウイルス粒子が極めて少ないことが観察された。B型細胞では，microvilliが散在分布し，ウイルス粒子数が比較的多く認められた。C型細胞またはHAD陰性細胞では，ウイルス粒子が極めて密に分布する場合やmicrovilliが著しく少ない傾向を示した。更に，HSV−FcRを免疫金標識した試料の観察結果では，全ての細胞表面が免疫金で標識され，感作赤血球を強固に接着しているmicrovilliの表面には免疫金の密度が特に高い傾向が観察された。以上より，全てのHAD陽性細胞でHSV−FcRが発現していることが認められたが，赤血球の吸着維持には，更にmicrovilliの関与が重要であることが示された。

論文審査の結果の要旨

本研究は，単純ヘルペスウイルス感染細胞における感作赤血球の吸着機構を光学顕微鏡および走査電子顕微鏡により研究し，感作赤血球を吸着したすべての細胞で単純ヘルペスウイルスFcレセプターが発現していること，又赤血球の吸着維持にはマイクロビリーが強く関与していることを示したもので，医学博士の学位に値する業績と認める。